

科目名	建設技術史 History of Construction Technology	科目コード	51941
-----	---	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・3年
担当教員	井林 康（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・1単位
開講時期・時間数	前期, 30時間【内訳：講義 30】
教科書	
補助教材	
参考書	なし

【A. 科目の概要と関連性】

わが国における現代の社会基盤の役割と重要性を学び、これまでの社会基盤の発展の歴史と、それを築いた建設技術の歴史の数々を学ぶ。

○関連する科目：環境都市概論（前々年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(d)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①わが国における社会基盤の役割と重要性を学ぶ	30%	(d2)
②現代にいたる社会基盤の発展の歴史を学ぶ	40%	(d2)
③現代にいたる建設技術の歴史を学ぶ	30%	(d2)

【C. 履修上の注意】

土木工学を学ぶためには、理数系の科目や土木工学の専門科目に加え、歴史、地理、政治経済、倫理、文学、民俗学など、様々な社会的要素に関する教養が重要である。この授業ではその一つとして、社会基盤の重要性や、それを築いた先人の偉業や技術の歴史を学ぶことは重要であり、授業に臨むにあたり意欲的に取り組む姿勢が非常に重要である。授業中の態度が著しく悪い場合、また欠席や遅刻の回数に応じて、評価からの減点を行うことがある。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（20%）【内訳：前期末 20】
- 課題（70%）
- その他の試験（10%、小テスト）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	授業の導入	
2	地域の活力を支える社会資本	
3	道路について	
4	河川について	
5	現場見学	
6	現場見学	
7	社会基盤の歴史(1)	
8	社会基盤の歴史(2)	
9	社会基盤の歴史(3)	
10	社会基盤の歴史(4)	
11	建設技術の歴史(1)	
12	建設技術の歴史(2)	
13	建設技術の歴史(3)	
14	建設技術の歴史(4)	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	